平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

男　子　　平成28年8月1日　16:10　開始

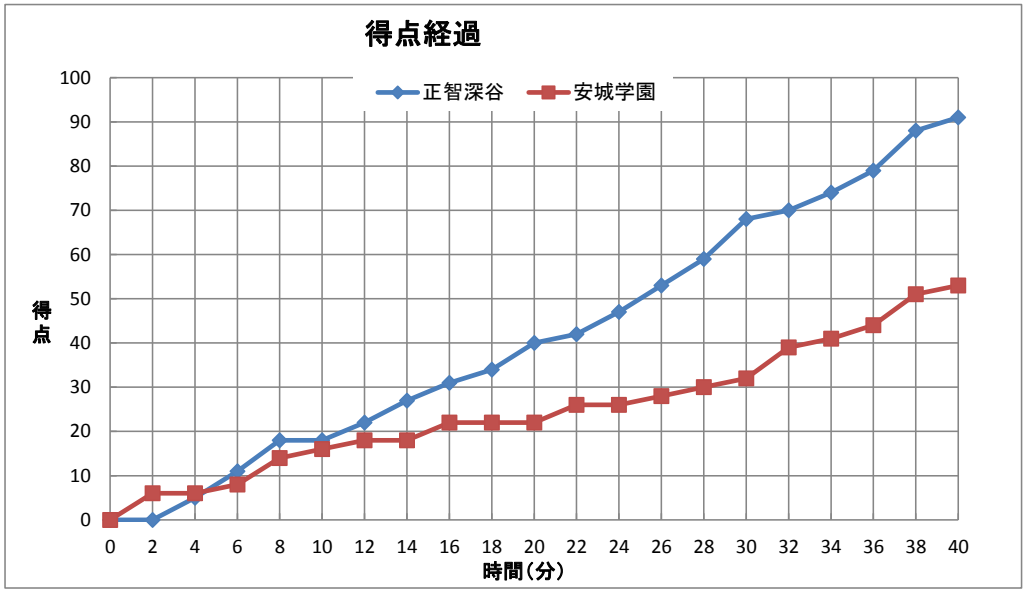
２回戦　　県立総合体育館大アリーナ　E

◎ 正智深谷 (埼玉県)	91			53	安城学園 (愛知県)
		18	1st	16	
		22	2nd	6	
		28	3rd	10	
		23	4th	21	

番号	氏　名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏　名	得点	3P	2P	FT	反則
＊ 4	山口　颯斗	36	3	10	7	2	＊ 4	山本　楓己	4	0	2	0	1
＊ 5	中島　修平	9	3	0	0	1	＊ 5	黒田　亘	22	1	6	7	4
6	角田　憲信	2	0	1	0	3	＊ 6	松元　颯星	3	1	0	0	3
＊ 7	増田　英寿	9	0	4	1	2	7	伊藤　草太	0	0	0	0	0
＊ 8	山口　大成	9	1	2	2	1	＊ 8	菅野　正和	6	0	2	2	3
＊ 9	常田　耕平	3	0	1	1	3	9	温井　武	0	0	0	0	0
10	中村　吏	2	0	1	0	0	＊ 10	若杉　栄治	16	0	8	0	2
11	野元　啓太郎	5	1	1	0	2	11	山内　海人	－	－	－	－	－
12	川口　颯太	1	0	0	1	0	12	立森　匠	2	0	0	2	2
13	田中　翔真	11	3	1	0	2	13	新本　空良	－	－	－	－	－
14	渡部　琉	4	0	1	2	0	14	杉浦　史紘	－	－	－	－	－
15	勝山　大輝	0	0	0	0	0	15	石川　翔紀	－	－	－	－	－
ｺｰﾁ	成田　靖					0	ｺｰﾁ	相沢　航					0
Aｺｰﾁ	福井　直人						Aｺｰﾁ	北林　晃					
合　計		91	11	22	14	16	合　計		53	2	18	11	15

主審：　小谷将夫

副審：　望月　公平



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	18:15	:	37:21	:	:	:	:	:	:
TeamB	12:18	16:25	:	:	:	:	:	:	:

〔 戦　評 〕

第1P、両チームともハーフコートマンツーマンでゲーム開始。安城学園が＃10、＃5の連続得点で先制するも、すぐさま正智深谷が＃8の3Pで決め返し、両チーム一歩も譲らない。正智深谷のヘルプローテーションは素早く、安城学園はなかなかリズムを掴めない。勢いに乗りたい安城学園はディフェンスを1－3－1ゾーンに変更し、プレッシャーをかけていく。拮抗した展開のままこのピリオドを終える。

第2P、どちらのチームもディフェンスの激しさが増す。開始より正智深谷が徐々にリバウンドを支配し始め、3連続得点を挙げることに成功。流れを変えたい安城学園はタイムアウトを請求する。その後は＃4が積極的にドライブインを仕掛け、チームを牽引する働きを見せるが、なかなか得点に結びつけることができない。それとは対照的に、正智深谷は＃4の長身を活かしたインサイドプレイ、＃5の3Pなどで、内外のバランスよく得点を伸ばしていく。ピリオド終盤、正智深谷のタイムアウト後、＃13が気迫溢れるディフェンスを見せ、チームに勢いが生まれる。さらに2連続3Pなどの活躍で一気に得点し、正智深谷のリードで前半終了。

第3P、安城学園はオールコート2－2－1ゾーンプレスやオールコートマンツーマンなどの多彩なディフェンス形態を用いて、オフェンスのリズムを崩しにかかる。それに対し、正智深谷はフロントコートまでボールを素早く運び、速い展開で攻めていく。その後、正智深谷は堅実なディフェンスから、＃4を中心とした速攻で確実に得点を重ね、大きく点差を広げることに成功する。

第4P、反撃の糸口を見つけたい安城学園は、オフェンスのテンポを上げ果敢にシュートを狙っていく。＃5、＃10が正確なシュートを決めるが、負けじと正智深谷も＃13が3Pを決め、点差は縮まらない。終盤正智深谷は交代したメンバーも速攻を出し続け、攻撃の手を休めることはなかった。そのままゲーム終了。長身揃いながら最後まで走り続けた正智深谷が勝利を収め、第3回戦に駒を進めた。

戦評：　西尾　友貴　　記録：　五日市高校